

一般質問通告一覧

質問順位	質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
1	鈴木 安次	50分	<p>1. 町民の安心安全をどのように守るかその対策を伺う。 町長</p> <p>(1) 平成22年3月に埴町防災マップと埴町洪水ハザードマップが作成され、11月に配布されたが東日本大震災以後、見直しをしたのか伺う。</p> <p>(2) 防災マップ、洪水ハザードマップに記載されている避難所の看板を設置すべきと思うがその対策を伺う。</p> <p>(3) 東日本大震災の時に企業から寄附された毛布などの保管、管理状況を伺う。</p> <p>(4) 各方部、行政区に災害時のための備蓄品を置いているのかその状況を伺う。</p> <p>(5) 災害弱者に優しい町づくりを目指すべきと思うが町長の考えを伺う。</p> <p>(6) なりすまし詐欺防止のため高齢者の一人住まい宅に「なりすまし詐欺電話撃退装置」を計画的に貸与する考えはないか伺う。</p>
2	鈴木 幸江	60分	<p>1. 「自動体外式除細動器（AED）」操作法の習得・人材育成の考えを伺う。心肺停止時の救急救命器具AEDの取り扱いは2004年から講習を受けた一般人も使用可能となり、埴町においても設置・整備されている。総務省消防庁によると2013年の1年間に約2万5千人が心臓の異常で心配停止状態に陥り一般人に発見されたが、AEDによる救命処置を受けた人は3.5%。AEDが使われた人の約半数は（1ヶ月後）生存、生存率は使われなかった人の4.5倍というデータがある。 町長、教育委員長</p> <p>(1) 町内のAED設置状況および今後の整備計画を伺う。</p> <p>(2) 教育施設ほか救命講習（心臓マッサージ法・AED操作法）の実施・習得状況および人材育成の考えを伺う。</p> <p>(3) 教育施設での取り組みと考えを伺う。授業で心臓マッサージ（胸骨圧迫）やAEDの使い方を教えるなど心肺蘇生法を小学生のうちから身に着ける取り組みが広がっており、児童生徒が「命の大切さ」を認識するきっかけともなっている。</p> <p>2. 各種選挙・投票率向上対策に関する所信を伺う。 町長、選挙管理委員長</p> <p>(1) 今回の県議選の投票率66.7%の数値をどのように捉えているか。</p> <p>(2) どのように投票率向上を図っていくか伺う。</p>

質問順位	質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
3	小峰 由久	60分	<p>1. 公共交通の今後について伺う。 町長</p> <p>(1) 方針を伺う。</p> <p>(2) 巡回バス、デマンドタクシー運行評価を伺う。</p> <p>(3) 町所有の通学用バスの年間経費と福島交通へのバス運行補助金、委託料、定期代の補助など費用をそれぞれ伺う。</p> <p>(4) 町営バスに全て切り替えた時の路線、運行計画、経費はどうか（住民の意見、最低限の満足に応える方法は）</p> <hr/> <p>2. 再生エネルギー発電への取り組みを伺う。 町長</p> <p>(1) 研究はしているか。</p> <p>(2) 小水力発電、畜産由来エネルギー発電、木質バイオマスエネルギー発電への評価を伺う。</p> <p>(3) 廃熱利用による農業や他の活用など総合計画を考える時と思うがどうか。</p> <hr/> <p>3. 材木町の健康福祉センター用地の活用計画について伺う。 町長</p> <p>(1) 子育て利用に重点が移ったようだが、なぜそうなったか伺う。</p> <p>(2) いつから開設するのか目標を伺う。</p> <hr/> <p>4. 若者定住策の推進について伺う。 町長</p> <p>(1) 奨学金受給学生のUターン時、優遇の考えはあるか。</p> <p>(2) 埴町に住宅を建てる若者に対する優遇策は考えているか。</p> <p>(3) 埴工生は郡内などの地元企業に就職する生徒が多い。生徒を多く集め、定住促進につなげるため埴工の支援を検討できないか。</p> <hr/> <p>5. 林業再生事業などで全伐した山林の維持に対する考えを伺う。 町長</p>
4	鈴木 茂	60分	<p>1. 当町は遊休農地（畑）が非常に多く、大きな問題である。解決策の一つとして市民農園を開設してはどうか町長の考えを伺う。 町長</p> <p>(1) 遊休農地や耕作放棄地が町内で非常に多い現状を町長はどのように認識しているか伺う。また、何らかの対策を考えているか伺う。</p> <p>(2) 解決策の一案として町民を対象にした市民農園を作って貸し出ししてはどうか伺う。</p> <p>(3) クラインガルデン（滞在型市民農園）も視野に入れるべきと思うがどのように考えるか。</p> <hr/> <p>2. 少子高齢化の対策としてお年寄りの健康寿命の延伸が不可欠である。そのためには運動が大切である。ウォーキングは手軽で普及しやすいと考えられる。お年寄りをはじめ町民にウォーキングを啓蒙、推奨するためにグッズなどを町で作り、支給してはどうか町の考えを伺う。 町長</p> <hr/> <p>3. 危険空き家対策について伺う。 町長</p> <p>(1) 空き家調査は終了したのか。また、危険な空き家についての調査項目が入っていたのか伺う。入っていた場合は何軒あったか伺う。</p> <p>(2) 道路沿いの老朽化して危険な空き家から通行人や車の安全を守るため持ち主などと協議の上、早急に撤去すべきと思うが町長の考えを伺う。</p>

質問順位	質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
5	藤田 高志	60分	<p>1. 観光産業を活用した町おこしについて伺う。 町長 (1) 東京都への人口一局集中や訪日外国人の増大など都市部には、人が溢れている。観光産業でも「地域間格差」が開いているが都市部からの誘客について町長の考えを伺う。 (2) 国際化を踏まえた外国人への対応と観光客の誘客などの計画について伺う。</p> <p>2. 若者が起業しやすい町づくりについて伺う。 町長 (1) 若者の就業の場確保には企業誘致のほか、若者自ら起業できる環境整備が必要と考えるが、町の取組みについて伺う。</p> <p>3. ICTを活用した雇用の創出について伺う。 町長 (1) 町は光ケーブルなど情報基盤を整備したがICT関連企業の誘致などそれらの有効活用が求められる。ICTを活用した雇用の創出を進めるべきと考えるが町長の考えを伺う。</p>